

製品名: HP1 ガンマ (9E5) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00894**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 21 kDa; Observed MW: 24 kDa

抗原情報

遺伝子名	CBX3
別名	CBX3; Chromobox protein homolog 3; HECH; Heterochromatin protein 1 homolog gamma; HP1 gamma; Modifier 2 protein
遺伝子 ID	11335
SwissProt ID	Q13185
免疫原	ヒト HP1 ガンマの合成ペプチド

背景

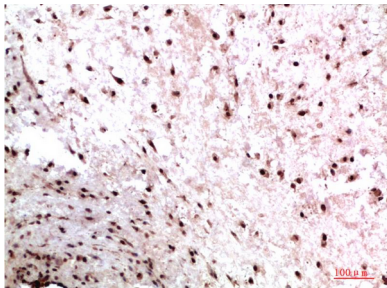
ヒストン H3 末端の Lys-9 メチル化を認識し結合し、エピジェネティック抑制を引き起こす。ラミン B 受容体 (LBR) との相互作用を

介してヘテロクロマチンと核内膜の結合に寄与する可能性がある。MIS12 複合体タンパク質との相互作用を介して機能的なキネトコアの形成に関与する。

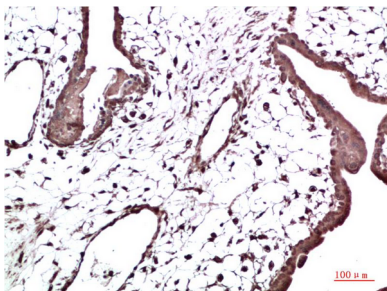
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

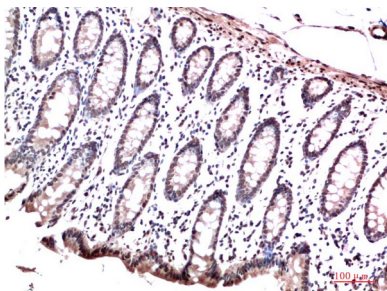
画像データ



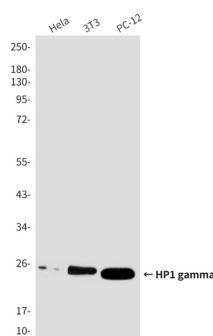
HP1 ガンマ (9E5) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



HP1 ガンマ (9E5) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



HP1 ガンマ (9E5) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



HP1 ガンマ (9E5) 抗体を使用した HeLa 溶解物、3T3 溶解物、PC-12 溶解物中の HP1 ガンマ (9E5) のウエスタンブロット分析。